

「行国家エストニア」で アントレプレナーシップ教育 を体験！

問行政経営課
☎82・3632 / IP ☎88・9084

今年度より子どもたちのアントレプレナーシップ(チャレンジ精神、創造性、リーダーシップ、コミュニケーション力等を養い、新しいことを創造し挑戦する姿勢を養い、国際的な視野を広げるため、世界最先端のIT国家であり起業活動が盛んなエストニアとの交流を開始しています。

この度、応募により選ばれた市内10人の中学生が7月22日～31日の10日間エストニアへ短期留学し、アントレプレナーシップやディベートをメインとした宇陀オリジナルの短期集中プログラム授業などに参加しました。



▲調印式での写真



▲サーレマー高校にて短期集中プログラム受講！



◀アフタースクール VIVITA で現地子どもたちとワークショップ



▲スタートアップハブ LIFT99 にて
※スタートアップハブ：多くの起業家を輩出した場所

エストニアサーレマー市 と教育に関する 基本合意書を締結

問行政経営課 ☎82・3632 / IP ☎88・9084

宇陀市とサーレマー市は、両市の交流の発展を増進させるため、友好的な協議を経て、7月26日に正式に基本合意書を締結しました。両市は、教育分野における交流を柱として、観光や文化などの分野においても積極的に交流と協力を展開することになりました。

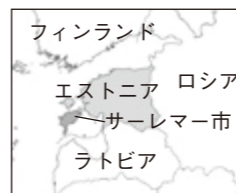
引き続き、エストニアと連携したアントレプレナーシップ教育に力を入れていきます。



▲教育に関する基本合意書を締結しました！

サーレマー市の紹介

【人口】 約 32,200 人
【面積】 2,718km²
【市長】 Mikk Tuisk



市の行政の中心はクレサーレ。クレサーレには、バルト海交易の要衝として堅固に築かれたクレサーレ城が現存。

サーレマー市はリゾート地としても長い歴史を持ち、きれいな空気、豊かな森、そして丘や山のない平坦な風景もサーレマー市の魅力。

宇陀市防災サポーター募集

養成講座を開催

問危機管理課 ☎82・1304 / IP ☎88・9070

あなたの力が地域の 安全・安心を守ります

災害発生時に被害を軽減するためには、市民一人ひとりの防災意識を高め、地域住民同士による「共助」の取り組みを促進させる必要があります。

地域の連携や防災力の強化を図るため、地域の防災活動の支えとして活動していただくのが、「宇陀市防災サポーター」です。

【サポーター認定登録要件】

市内在住、在勤または在学者、市が実施するサポーター養成講座を全て受講・修了した方で、本人が登録を希望し、市長が認める者を認定登録します。

【講座内容】

- ①気象災害、大雨、土砂災害と避難情報などの防災知識(座学)
- ②自助・共助、被災地域の諸問題などの防災知識(災害時、被災地域)、ハザードマップから危険個所の確認と避難(座学)
- ③避難所開設・運営の訓練(実技)

養成講座

【日程と内容】(2回とも受講できる方)

- 【日時】 11月12日(日)
午前9時～午後0時30分
【場所】 市役所 4階大会議室
【内容】 ①気象災害と避難情報など(午前9時10分～10時40分)
②被災地域の諸問題など(午前10時40分～午後0時20分)
- 【日時】 12月3日(日)
午前9時～午後0時30分
【場所】 人権交流センター(菟田野)
【内容】 ③防災講話(ハザードマップ)
④避難所の開設・運営訓練

【定員】 30人(先着順) 【受講料】 無料

【応募期間】 9月1日(金)～10月20日(金)

【参加資格】 市内在住、在勤または在学者(防災士、養成講座修了者および、元消防職員の方はご遠慮ください)

【応募方法】 応募用紙をFAX、eメールで提出をお願いします。(持参可)
応募用紙は市ホームページにあります。

FAX: 82・3900
メール: kikikanri@city.uda.lg.jp

毎日の食事で元気に！



さんとぴあ榛原からの お知らせ

問さんとぴあ榛原
☎85・2525 / IP ☎88・9065

毎日の食事は楽しみでもあり、日々の健康をつくる大切なものです。

当施設には管理栄養士が常駐しており、食事の提供と、栄養ケア・マネジメントを行っています。また、毎月定期的に多職種が参加する給食検討委員会を開催し、利用者さんからの意見や要望を献立に反映しています。

より美味しく、食べやすく、そして栄養のあるものを提供するには、どうすればよいか、調理を委託している業者の方も交えて話し合っています。

次に、栄養ケア・マネジメントとは、低栄養状態などのリスクの有無や課題を把握し、一人ひとりに合った栄養ケア計画書を作成しています。そして、ご本人や、ご家族の同意を得たうえで、計画に基づいた食事提供を行い経過を記録しています。朝食晩、食べ残しはないか、水分は摂れているかなどを確認し、問題があれば個別で対応いたします。例えば、利用者さんの身体状況や、嚥下状態に合わせた調理方法を考

施設で提供する食事で利用者さんの低栄養状態が改善したり、「美味しかった」と笑顔を見せてもらった日は、管理栄養士が一番やりがいを感じる時です。

◀ YouTube で
さんとぴあ榛原を紹介



▲土用の丑の日は鰻丼でした！

第51回医療功労賞

（中央表彰）を

受賞されました

健康増進課 (☎02・33692/IP☎88・9087)

過疎地域など厳しい環境で長年、地域の医療や福祉を支えてきた方を顕彰する「第51回医療功労賞」の中央表彰者として、加藤クリニック代表 加藤久和医師が表彰されました。表彰式は東京で行われ、その後は他の地域から選ばれた9人の方とともに、皇居で天皇、皇后両陛下のねぎらいを受けられました。

【訪問診療と在宅ケア貢献】

●加藤久和医師の功績

県内の過疎地の診療所を経験され、1996年にクリニックを開業。2006年には「在宅療養支援診療所」の認可を受け、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者に対し、24時間365日体制で在宅医療に対応する訪問診療や在宅ケア、看取りなどを通じ、地域を支えてこられました。2018年には医療連携ネットワーク「宇陀けあネット」の代表理事に就任され、設立前から各施設へ説明に回り参加を促し、



▲表彰式の様子

宇陀市と山梨県甲斐市が 全国初のDX推進に関する 自治体間連携協定を締結

商工業課 (☎02・5874/IP☎88・9075)

6月27日に山梨県甲斐市とDX推進に関する全国初の自治体間連携協定を締結しました。

市の公民連携による取り組みの一つで、「宇陀市最先端デジタルプロジェクト」において連携する民間事業者が共通であることを契機に、先進的な取り組みを行う甲斐市と連携し、プログラミングやeスポーツなどの体験を通してDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しようというものです。



▲協定書にサインをしているところ



▲左より、保坂武甲斐市長と金剛市長

「令和5年秋開始接種」

健康増進課 (☎02・33692/IP☎88・9087)

国の方針により、新型コロナウイルスワクチン「令和5年秋開始接種」が令和5年9月20日より開始することとなりました。つきましては、接種の対象となる方へ「接種券一体型予診票」を送付します。なお「令和5年秋開始接種」においては、今回届く黄色の「接種券一体型予診票」のみ使用可能となります。令和5年春開始接種までに送付している緑色・白色等の「接種券一体型予診票」は使用できませんので、お持ちの方はご注意ください。

【接種開始時期】 9月20日～

【接種対象者】

初回接種を完了した12歳以上の全ての方

【接種を受ける際の費用】 無料

【使用ワクチン】

○ファイザー社ワクチン（オミクロン株 XBB・i・5 対応1価ワクチン）
初回接種・追加接種対象
○モデルナ社ワクチン（オミクロン株 XBB・i・5 対応1価ワクチン）
追加接種対象

【案内方法】

【9月初旬送付予定】

・65歳以上の方
・12歳～64歳で春開始接種対象のうち接種済みの方

【9月中旬送付予定】

・12歳以上で右記以外の方
※令和5年秋開始接種は接種券発行申請書の提出は必要ありません。接種券が届くまでし

ばらくお待ちください。接種券が届きましたら同封の接種案内をご覧ください。接種のご検討をお願いします。

【接種方法】 ●個別接種・集団接種

接種方法については接種券一体型予診票と同時に送付する案内をご覧ください。申込方法などご確認ください。

●乳幼児追加接種・小児追加接種について

乳幼児（6か月～4歳）、小児（5歳～11歳）までの追加接種対象の方には、接種券を送付しますので接種案内をご覧ください。接種のご検討をお願いします。

●令和5年春開始接種の期間の変更について

秋開始接種の開始日決定に伴い、春開始接種の期間が令和5年8月31日から9月19日までに変更になりました。

●初回接種について

新型コロナウイルスの初回接種では、これまで従来型ワクチンを使用していましたが、8月7日以降オミクロン株対応ワクチンによる初回接種を可能とするなどの制度改正が行われましたので、初回接種を希望する方はコロナワクチン接種対策室までお問い合わせください。

新型コロナウイルス接種に 関するお問い合わせ

市新型コロナウイルス接種対策室

☎96・9030 / FAX 82・7234
午前9時～午後4時

手話への扉

第38回

まだまだ暑い日が続きますが、色々なイベントがあります。体調に気をつけて楽しく参加しましょうね。



▶指文字はこちらから

生涯学習課



【生涯】右手の指文字「ヤ」を左へ動かし、左手の平に親指を当てる。※生れてから死ぬまでを表す



【学習】両手の平を斜めに立てて並べて置き、軽く前後する。※本を持つイメージ



【課】指文字の「カ」

子どもフェスタ



【子ども】体の前で位置を変えて右手の平で空間を3回押さえる。※子どもの頭が並ぶ様子



【フェスティバル】両手の人差し指を立て、顔の横で回す。